

キュウリ・観察日誌 (かんさつにっし) ①【4年生】

桐朋学園小学校・生活科

4年生のみなさんには、『生活科だより No.2』で「キュウリの話・植え付け」について、かんたんにしようかいました。おたより、読んでくれたかな？

さて今回は、5月も半ばをむかえ、植え付けをしたキュウリが、順調に成長しているようすをお伝えしたいと思います。みんなが学校に来られるようになるまで、『観察日誌 (かんさつにっし)』としてとどけたいと思います。

ぜひ、今回もみなさんに読んでもらい、キュウリの成長を身近にかんじてもらえるとうれしいです。

1. 定点観察 (ていてんかんさつ) してみます

植物などの成長や変化を調べるときの方法の一つとして、同じものを同じ場所から観察 (かんさつ) することを、「定点観察 (ていてんかんさつ)・定点観測 (ていてんかんそく)」などと言います。

これを行うことで、前よりも大きくなったり、数がふえたりしているなどの変化が分かりやすくなります。

下の写真は、左の写真は植え付けをした日 (4月28日)、右の写真は (5月12日) にさつえいしたものです。写真だけだと分かりにくく、また、大きな変化はないかもしれませんが、よく見て、くらべてみてください。

《かんさつ 観察ポイント》

「葉っぱの数」、「双葉 (ふたば) があるか」、「支柱の節目の何こ目まで のびているか」、などに注目しよう！

4月28日 (土)

5月12日 (火)





どんな変化がありましたか。もう少しすると **かわいいお花がさき始めます。**
どんなお花がさくのかな？ **それは、これからの楽しみ…。**

2. 「つる」がのび始めてきました

下の写真をよく見てみてください。なんだか、細く・長いものが空に向かってのびているのがわかりますか？これは、「つる」というもので、「まきひげ」ともいいます。この「つる」がのびながら支柱にまきついていき、どんどん上に向かって成長していきます。「つる」は、まきつけそうなものを自分でさがしながら、クルクルとうすまきを書くようにのびていきます。とてもかっこいいですね。

この「つる」がのびてくるのが、お花がさき始める合図ともいわれています。順調に成長していますね。

